

投稿規程

1. 本誌の名称は「佐久大学 看護・福祉研究」とし、原則として年1回刊行する。
2. 本誌は、本学における研究の推進と研究発表の場の提供を目的とする。
3. 投稿原稿は未発表のものに限る。
4. 投稿資格は以下のとおりとする。
 - 1) 本学の教職員、非常勤講師、大学院生（共著者は学外者も可）
 - 2) 本学が認めた臨地講師
 - 3) 本学に在職中または在学中に行った研究成果を発表する元教職員および修了生
 - 4) その他、紀要委員会が適当と認めたもの
5. 投稿論文の種類は次のとおりとする。なお、頁数は図表等を含め10頁以内とする。
 - 1) 総説：ある主題に関連した研究の総括
 - 2) 原著：独創的または新しい知見が示されている論文、およびある主題に関する理論や仮説の構築、展望、提言など
 - 3) 研究ノート／研究報告：研究としての意義があり、報告の価値が認められるもの
 - 4) 資料：研究上有用で、資料としての意義が認められるもの
 - 5) 実践報告：教育および臨地実践に関する報告で記録に残す価値があると認められるもの
 - 6) その他：紀要委員会が適当と認めたもの
6. 論文の採否は紀要委員会が決定する。上記1)～4)は査読者による査読を行い、その結果に基づき紀要委員会が決定する。
7. 論文には次の事項を明記する。
 - 1) 研究の過程で行った倫理的配慮を記載する。倫理審査を受けた場合は、承認番号および年月を記載する。
 - 2) 利益相反の有無を論文の末尾に記載する。
 - 3) 研究助成を受けた場合は、その旨と助成機関名を論文の末尾に記載する。
8. 原稿の提出は以下のとおりとする。
 - 1) 投稿の際は、以下のファイルを紀要委員会へ送付する。
 - ①投稿表紙
 - ②本文ファイル（表題・キーワード・要旨・本文）
 - ③図表・画像等
 - ④チェックリスト
 - ⑤著作権委譲承諾書
 - 2) 最終原稿提出の際は、以下のファイルを紀要委員会へ送付する。
 - ①投稿表紙（最終版）
 - ②本文ファイル（最終版）（表題・キーワード・要旨・本文）
 - ③図表・画像等（最終版）

3) 提出先は佐久大学紀要委員会とし、メールに添付して送付する。

E-mail アドレス : bull@saku.ac.jp

9. 著者校正は1回とし、大幅な加筆・訂正は認めない。

10. 投稿原稿の執筆要領は以下のとおりである。

1) 書式と内容

- (1) 原稿は MS-word を用いて作成する。
- (2) A4 判、横書き、1 段組み、1 頁 40 字×40 行とし、フッター中央にページ番号を表示する。
- (3) フォントは日本語用を MS 明朝、英数字用を Times New Roman とし、サイズは 10.5pt、英数字は半角とする。
- (4) 原則として常用漢字、現代かなづかいを用いる。数値にはアラビア数字、固有名詞や概念には漢数字を使用する。
- (5) 和文の句点は「。」読点は「、」とする。英文の場合はピリオド「.」カンマ「,」コロン「:」セミコロン「;」を半角とし、後ろに半角スペースを入れる。
- (6) 本文ファイルには表題、キーワード、要旨、本文の順に記載し、行番号を表示する。
- (7) 表題は、日本語と英語で記載する。副題がある場合は副題の前に「:」をつける。
- (8) キーワードは、日本語 3~5 語とそれに対応する英語 3~5 語を記載する。
- (9) 和文要旨は 400 字程度とする。原著ならびに研究ノート／研究報告には 250 字程度の英文要旨を記載する。
- (10) 原稿構成の章立て、項目番号は、原則として I、1、1)、(1) の順とする。
- (11) 図表・画像等には、図 1、表 1 などの番号をふり、タイトルをつける。本文の挿入希望位置に赤字で図表番号とタイトル、サイズ（文字数に換算）を記載する。
- (12) 図表のサイズは、刷り上がり 1/4 頁程度を 400 字、1/2 頁程度を 800 字、1 頁程度を 1600 字と換算する。
- (13) 図表等を転載する場合は、投稿者の責任において著作権者から書面で転載許諾を得た上で使用し、出典を明記する。
- (14) 注は、本文中に*¹ *² のように*を付した通し番号による上付き数字で示し、本文の末尾にまとめて記載する。MS-word の脚注機能は使わない。
- (15) 文献リストは本文の末尾（注がある場合は、注の後ろ）にまとめて記載する。

2) 文献の記載方法：「APA スタイル」に準拠する場合

原則的にアメリカ心理学会による Publication Manual of the American Psychological Association(7th ed.)の翻訳「APA 論文作成マニュアル第3版(2023)」(医学書院)を基にして、下記のとおりとする。

(1) 文中に文献を引用する場合

引用方法には、パラフレーズ引用と直接引用の2種類がある。

①引用部分の後に、著者名の姓（ファミリーネーム）と出版年（西暦）を半角カンマで区切り半角丸括弧で括って表示する。著者名を本文中で使用の場合は、著者名の直後に出版年を括弧で括って表示する。直接引用の場合は、引用部分をかぎ括弧で括り、出版年の後に半角カンマで区切って引用ページを記載する。同一カ所で複数の文献を引用する場合は、著者のアルファベット順に並べ半角セミコロンで区切る。翻訳書を引用する場合は、原著者名、原著出版年を記載後、半角スラッシュに続き、翻訳書の出版年を記載する。

※は半角スペースを表す

例：佐藤(2015)は、……と報告している。

例：……と言われている(佐藤,2015;田中,2019)。

例：Polit (2004/2010,pp.56-57)は、「……」と報告している。

②著者数別の記載

a. 著者が2名の場合は、すべての引用箇所に2名の著者名を記載する。括弧内で引用表示する場合は、著者名の間は半角カンマで区切る。欧文の場合は、著者名の間「and」（括弧内で引用表示する場合は「&」）を入れる。

例：……と言われている(佐藤,鈴木,2014)。

例：佐藤、鈴木(2014)は、……と報告している。

例：Smith and Johnson(2021)の報告では、……。

b. 著者が3名以上の場合は、筆頭著者名に「ら」を付けて記載する。欧文の場合は、筆頭著者名の後ろに「et al.」を付ける。ただし、他の引用と区別がつかない場合は、判別可能になるまで共著者を列挙し、最後に「ら」と記載する。

例：Smith et al.(2014)は …… と述べている。

例：「……」との報告がある(佐藤ら,2015,p.8)。

例：佐藤、鈴木、田中ら(2015)は、…… と述べている。一方、佐藤、鈴木、小林ら(2015)は、…… と報告している。

③同一年に同一著者の文献が複数ある場合は、出版年の後に小文字のアルファベットを付け区別する。

例：田中(2015a)は……としており、また……(田中,2015b) としている。

(2) 文献リストの記載方法

文献リストには本文中で引用した入手可能な文献を記載する。

①著者名は、姓名を記載し間にスペースを入れない。欧文の場合は、「ファミリーネーム,ファーストネームのイニシャル.ミドルネームのイニシャル.」と記載する。

②リストの記載順序は、筆頭著者の姓のアルファベット順とする。

③同一著者の文献が複数ある場合は、出版年の早い順とする。

④同一年に同一著者の文献が複数ある場合は、本文中の引用表示に添付した小文字のアルファベット順とする。

⑤出版物別記載方法は以下のとおりである。※は半角スペースを表す

a. 雑誌

著者名(出版年).論文の表題.掲載雑誌名,巻(号),始頁-終頁.

例：堀内ふき(2022). 認知症高齢者の意思のとらえ方. 日本看護倫理学会誌, 14(1), 71-72.

例：Kawashima, A., & Petrini, M. A. (2004). Study of critical thinking skills in nursing students and nurses in Japan. *Nurse Education Today*, 24(4), 286-292.

b. 書籍

著者名(出版年). 書名(版数)(pp.引用始頁-終頁). 発行元.

例：小村三千代(2009). 小児をめぐる看護現象入門(pp.9-10). ライフサポート社.

尚、洋書の場合は、出版社の前に出版地を記載しコロンでつなぐ。

例：Alligood, M. R., & Marriner-Tomey, A. (2010). *Nursing theorists and their work*(7th ed.)(pp.242-243). Mosby Elsevier.

分担執筆の場合：章著者名(出版年). 章タイトル. 編者名(編), 書名(版数)(pp.引用始頁-終頁). 発行元.

例：征矢野あや子(2016). 高齢者のヘルスプロモーション. 堀内ふき, 大淵律子, 諏訪さゆり(編), 高齢者の健康と障害(第5版)(p.228). メディカ出版.

c. 翻訳書

原著者名. (原書出版年/翻訳書出版年). 翻訳者名(訳), 翻訳書名(pp.引用始頁-終頁). 発行元.

例：Polit, D. F., & Beck, C. T. (2004/2010). 近藤潤子(訳), 看護研究 原理と方法(第2版)(p.55). 医学書院.

d. インターネットの情報

通常の本誌情報の後ろに URL を記載する。DOI がある場合は URL の代わりに DOI を記載する。

例：征矢野あや子(2014). 認知症のある高齢者の転倒予防. 日本転倒予防学会誌, 1(1), 17-21. https://doi.org/10.11335/tentouyobou.1.1_17

ウェブサイトから引用した場合：著者名(出版年). タイトル. URL (検索日 yyyy/mm/dd)

例：佐久市(2020.3.2). 災害時支援用バンダナの配付について. <http://www.city.saku.nagano.jp/kenko/fukushi/shogaishafukushi/shisaku/saigaibandana.html> (検索日 2022/04/01)

⑥ 著者数別記載方法は以下のとおりとする。

- a. 著者が 20 名以下の場合は、全員の姓名を記載する。著者の間は半角カンマで区切り、ピリオドで終える。欧文の場合も同様に記載し、最終著者名の前に「&」を入れる。
- b. 著者が 21 名以上の場合は、最初の 19 名を記載し、省略記号「. . .」(ピリオドと半角スペースを 3 回繰り返す)の後に最終著者を記載する。欧文の場合も同様に記載する。

3) 文献の記載方法：「社会学評論スタイルガイド」に準拠する場合

原則的に日本社会学会が発行する「社会学評論スタイルガイド第3版」を基にして、下記のとおりとする。

(1) 論文中の人名表記

論文中で他の論者に言及する場合、初出時にはフルネームで記載する。2度目以降は姓のみとする。敬称はつけない。

外国人の場合も、初出時にはフルネームを記載する。カタカナ表記におけるファーストネーム・ミドルネーム・ファミリーネームなどの区切りはナカグロ「・」を用いる。名前の一部を省略形のアルファベットで表記する場合は、省略文字はピリオド「.」とする（例：ジョージ・ハーバート・ミードまたはジョージ・H. ミード）

(2) 文中に文献を引用する場合

①本文中の適切な箇所に著者名の姓（ファミリーネーム）、出版年（西暦）を括弧で括って表示する。短い文章を引用する場合はページを記載し、引用部分をかぎ括弧で括る。

著者名を本文中で使用している場合は、著者名の直後に出版年を括弧で括って表示する。または、言及が終わったところで表示する（表記方法はどちらかに統一する）。括弧は全角の丸括弧（ ）を用いる。著者名と出版年の間には半角スペースを入れる。ページ数を記載する場合は、出版年の後に半角コロンと半角スペースを入れる。引用が複数ページにわたる場合は、重複する位を省略する。

翻訳書を引用する場合は、（原著者名 原書の出版年=訳書の出版年）のかたちで記載する。

例：佐藤宗久（2015）によれば、……である。

例：佐藤宗久によれば……である（佐藤 2015）。

例：ここでは「……」（佐藤 2015: 235-7）と報告している。

例：……（Goffman 1961=1984）

②著者数別の記載

a. 著者が2名の場合は、すべての引用箇所に2名の著者名を記載する。著者名の間はナカグロでつなぐ。

例：……と言われている（佐藤・鈴木 2014）。

例：佐藤と鈴木は……について「……」（佐藤・鈴木 2014: 55）と報告している。

欧文の場合には、著者名の間には「and」または「&」を入れる。

例：……と言われている（Sato and Suzuki 2014）。

例：Munehisa Sato と Daichi Suzuki は、「……」（Sato & Suzuki 2014: 55）と報告している。

b. 著者が3名以上の場合は、最初の引用では全員の著者名を記載し、それ以降の引用では筆頭著者名に「ほか」「et al.」を付けて記載する。

例：佐藤宗久・鈴木大地・田中角栄（2014）は……としており、さらに佐藤ほか（2014）は「……」と報告している。

欧文の場合には、著者名の間をカンマでつなぎ、最終著者名を「and」でつな

ぐ。2回目以降の引用では、筆頭著者名の後ろに「et al.」を付ける。

例：Munehisa Sato, Daichi Suzuki and Kakuei Tanaka (2014) は……としており、さらに……と報告している (Sato et al. 2014)。

③同一年に同一著者の文献が複数ある場合は、発行年の後に小文字のアルファベットを付け区別する。

(3) 文献リストの記載方法

文献リストには本文中で引用した入手可能な文献を記載する。

①著者名は、姓名を記載し間にスペースを入れない。欧文の場合は「ファミリーネーム、ファーストネーム ミドルネーム、」と記載する。

②リストの記載順序は、筆頭著者の姓のアルファベット順とする。

③同一著者の文献が複数ある場合は、発刊年の早い順とする。

④同一年に同一著者の文献が複数ある場合は、本文中の引用表示に添付した小文字のアルファベット順とする。

⑤出版物別記載方法は以下のとおりである。

a. 雑誌

著者名，出版年，「論文のタイトル」『雑誌名』巻(号): 論文の初ページ-終ページ.

例：佐藤嘉倫，1998，「合理的選択理論批判の論理構造とその問題点」『社会学評論』49(2): 188-205.

欧文の場合：著者名，出版年，“論文のタイトル，” 雑誌名，巻(号): 論文の初ページ-終ページ.

例：Abbott, Andrew, 1995, “Things of Boundaries,” *Social Research*, 62(4): 857-82.

b. 書籍

著者名，出版年，『タイトル——サブタイトル』出版社名.

例：稲上毅，1981，『労使関係の社会学』東京大学出版会.

真木悠介，1977a，『現代社会の存立構造』筑摩書房.

———，1977b，『気流の鳴る音』筑摩書房.

小熊英二，1995，『単一民族神話の起源——〈日本人〉の自画像の系譜』新曜社.

欧文の場合：著者のファミリーネーム，ファーストネーム ミドルネーム，出版年，タイトル: サブタイトル，出版都市名: 出版社名.

例：Broadbent, Jeffrey, 1998, *Environmental Politics in Japan: Networks of Power and Protest*, New York: Cambridge University Press.

分担執筆の場合：著者名，出版年，「論文のタイトル」共著者名『本のタイトル』出版社名，論文の初ページ-終ページ.

例：高橋徹，1965，「日本における社会心理学の形成」高橋徹・富永健一・佐藤毅『今日の社会心理学 1 社会心理学の形成』培風館，317-505.

c. 翻訳書

原典の書誌情報。(訳者名訳，翻訳の出版年，『訳書のタイトル』出版社名.)

例：Fromm, Erich, 1941, *Escape from Freedom*, New York: Reinehart and Winston.

(日高六郎訳, 1951, 『自由からの逃走』東京創元社.)

d. インターネットの情報

著者名, 最終更新年, 「タイトル」, ウェブサイト名, (取得日, URL).

例: 日本社会学会, 2006, 「日本社会学会倫理綱領にもとづく研究指針」, 日本社会学会ホームページ, (2009年2月2日取得, <https://jss-sociology.org/wp/about/shishin.pdf>).

電子媒体でのみ提供されている雑誌の場合: 著者名, 出版年, 「論文のタイトル」, 雑誌名, 巻(号), (取得日, URL).

例: Schafer, Daniel W. and Fred L. Ramsey, 2003, “Teaching the Craft of Data Analysis,” *Journal of Statistics Education*, 11(1), (Retrieved December 12, 2006, <http://www.amstat.org/publications/jse/v11n1/schafer.html>).

紙媒体と電子媒体の両方で提供されている雑誌の場合: 著者名, 出版年, 「論文のタイトル」『雑誌名』巻(号): 論文の初ページ-終ページ, (取得日, URL またはデータベース名).

例: 渡邊勉・竹ノ下弘久, 2008, 「特集 階層移動研究の最前線」『理論と方法』23(2): 1-3, (2009年1月10日取得, http://www.jstage.jst.go.jp/article/ojams/23/2/23_2_1/_article/-char/ja/).

⑥著者数別記載方法

著者が複数の場合は、すべての著者名を記載する。

11. 本誌に掲載された論文の著作権は、佐久大学に帰属する。

12. 別刷は 10 部とし、それを超えるものについては実費を著者が負担する。図表・画像のカラー掲載を希望する場合は、実費を著者が負担する。

附則

この規程は、令和 4 年 3 月 16 日合同教授会の議を経て、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

この規程は、令和 5 年 7 月 19 日合同教授会の議を経て、令和 5 年 8 月 1 日から施行する。